

西山善峰寺は小塩の山上にあり。天台宗にして、本尊は千手観音なり。〔此本尊は加茂の神木槻木なり。行円法師

靈瑞を得給ひ、弘仁法師を招て千手の像を作らしむ、是洛陽革堂の本尊なり、その余材を以て六尺の像を作る、当寺本

尊是なり〕阿弥陀堂の本尊は慈覚大師の作、二重塔には大日如来を安置す。開基は源算上人〔旧因州の人にして、孤と

なり道のかたはらに捨られしを、所の人拾ひて養育し、比叡山に登せて剃髮受戒し。四十余年登壇重受の功を積、恵心

僧都の弟子となり、靈夢を蒙り此山に登り、石上に坐して七昼夜坐禅す。忽然として老翁顕れ、われは此山の主阿知坂

神といふ、上人早く仏場を建立し給はゞ大に可なり。時に数疋の猪来つて險難を平にし、化して去。竟に天聴に達し、

後一条院御宇長久二年の秋、伽藍成就し給ひけり〕

白山水〔当山宝光坊にあり。源算上人如法經書写のとき、白山権現出現し五彩の雲氣立けるとなり〕仙翁石〔路の傍

にあり、源算上人觀念し給ふ所にして、坐禅石といふ〕阿智坂社〔当山へ登る七曲の中にあり、此寺の守護神なり〕

観性法橋、慈鎮和尚、尊円法親王等の墳当山の北にあり〕